

第2回 下野市地域福祉計画策定委員会 議事録

1 開催日時

平成23年7月20日(木) 午前10時00分～11時45分

2 開催場所

下野市役所石橋庁舎303会議室

3 出席者(委員16名)

(委員)

荒木委員長

澁田副委員長、佐久間委員、君島委員、金島委員、高井委員、曾根委員、小島委員、片山委員、久野委員、梶井委員、青柳委員、田中委員、茂木委員、小平委員、阿部委員

(欠席)

伊沢委員、倉井委員

(事務局)

田中健康福祉部長、神戸社会福祉課長、蓬田課長補佐、添野主査、五月女主事、
ジャパン総研

4 次第

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 第1回策定委員会会議録について

(2) 計画骨子案について

(3) その他

4 閉会

5 あいさつ

○開会のあいさつ

事務局	定刻となりましたので、ただ今より第2回下野市地域福祉計画策定委員会を開催いたします。開会にあたりまして荒木委員長よりごあいさつをお願いしたいと思います。
-----	--

○委員長あいさつ

委員長	<p>皆様おはようございます。本日はお暑い中、ご参集いただきましてありがとうございます。</p> <p>まず議事録についてですが、これは市のホームページに掲載いたしますので、訂正や修正があればお願いしたいと思います。</p> <p>本日の議題ですが、特に計画の骨子案について議論することになっています。事務局より説明をお願いします。</p>
-----	--

6 議題（要旨）

（1） 第1回策定委員会会議録について

（1）について、特に発言はなし。

（2） 計画骨子案について

事務局、ジャパン総研より資料1～資料3に基づき説明を行ったところ、以下のような疑義及び意見があった。

委員長	<p>ただ今事務局とジャパン総研より、計画骨子案、課題の抽出、各論の構成案が示されました。これまでのアンケート調査やヒアリングをもとにして抽出した課題を12のカテゴリに分類し、分類した課題から3つの基本目標をつくったということです。</p> <p>骨子のほうでは、今回の計画の基本理念ということで案が4つ示されていますので、本日皆様のご意見をお聞きしたいと思います。</p> <p>それではまず課題抽出一覧表を見ていただき、これらの課題について、もしくはほかにも課題があるようでしたらご意見をお願いしたいと思います。</p>
曾根委員	<p>本日はどのような順序で、どこまで議論をするのかということがよくわかりません。</p>
委員長	<p>本日は計画の総論ですが、次回は各論ということでそれぞれの課題についての対処策を話し合うことになると思いますので、課題について事前にご意見をお聞きしたいと思います。現在その確認を行っているところです。抽出された下野市の課題を見て何か感じられることがあればお聞き</p>

<p>久野委員</p>	<p>したいと思います。そしてそのご意見も次回の各論の時に参考にして、作 つくっていきたいと思っています。</p> <p>それから、次に計画書の 33 ページにあります計画の基本理念の 4 つの 案についてご意見をいただきたいと思っています。本日はこの基本理念に ついての議論が中心となります。</p> <p>「ふれあい、支え合い、助け合いの輪が広がる地域づくり」の中の最 後のカテゴリ「マナー」で、住民懇談会のところにあります「ペットのフ ンの始末、高齢者の自転車マナー、ゴミの不法投棄が目立つ、ゴミに関す るマナーが悪い」というのはどちらかというと、「安心・安全な暮らしや すいまちづくり」で重点的に問題点として上げられているものではないか と思いますが、なぜこちらに入っているのですか。</p>
<p>ジャパン総研</p>	<p>一般的な生活環境の面で見ると、このカテゴリはそのような方向性にな ると思います。しかし今回は地域福祉計画なので自助、共助、公助とい う考え方で地域の方々にご協力いただく点もあるということで「マナー」 のところを見ますと、例えば高齢者の自転車のマナーが悪いならば近所 の方が声をかけるとか、ゴミに関するマナーについても近所で付き合いが あれば防ぐことができるのではないかとということで、「ふれあい、支え合い、 助け合いの輪が広がる地域づくり」の中に入れました。</p>
<p>君島委員</p>	<p>説明がありましたように計画について 1 ページに詳しく書いてありま す。しかし一番大切なことは、我々が知っていること、わかっていること を地域住民にどのように伝えていくかだと私は思います。だから、自治会 のところにおいてお話をするなどやっていかないと、本当に机上の空論に なってしまいます。例えばアンケートにしても本当かな、違うのではない かなということが何点かありますので、ここでやったものを地域住民にど のように伝えていくかが大きな問題になっていくのではないかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>今 2 つ、ご質問とご意見がありました。はじめのマナーについては よろしいでしょうか。</p>
<p>久野委員</p>	<p>今お話を聞いてさらに気付いたことがあります。「ふれあい、支え合い、 助け合いの輪が広がる地域づくり」は実現に向けて自治会などコミュニテ ィにお任せしたい部分で、「安心・安全な暮らしやすいまちづくり」は消 防団や育成会など個人的なところからもう少し広がったコミュニティに ついての部分など、何か分け方があるのではというイメージを感じまし た。その辺りの分け方について意図的なものはあるのですか。</p>
<p>ジャパン総研</p>	<p>今言われましたように「ふれあい、支え合い、助け合いの輪が広がる 地域づくり」は、地域コミュニティに焦点をあてて書いています。次の「安 心・安全な暮らしやすいまちづくり」は市全体での方向性を書いていま す。そしてそれぞれの各論におきまして、自助、共助、公助という 3 つの視 点でどのようなことができるのかということを書かせていただこうと思っ</p>

<p>久野委員 委員長</p>	<p>ています。</p> <p>視点がわかればそこに入っているカテゴリも納得ができます。</p> <p>もう1点、地域住民に対して委員会や計画書についての情報公開とともにいかに伝達するかが重要だというご意見がありました。その点につきましてはどのようなお考えですか。</p>
<p>事務局</p> <p>委員長</p>	<p>今のご意見ですが、この策定委員会については皆様に同意をいただいた後ホームページ等で議事録を公開していきます。そして計画書ができあがれば、全住民への配布、あるいはホームページや広報でもしっかりと伝えていきたいと思っています。この地域福祉は最終的に地域住民の皆様にご協力いただき、自助、共助、公助の3つが一体とならなければ進めていくことはできません。だから住民の方には当然しっかりと報告し協力していただく体制づくりも必要となりますので、今のご意見を踏まえまして今後進めていきたいと思っています。</p> <p>情報伝達につきましては、各論の構成案の中にありますように基本目標3の(3)で行政と地域住民と各団体がいかに連携を取るか、いかに情報伝達をするかという体制づくりが大切だということで書いてありますので、次回議論していきたいと思っています。</p>
<p>曾根委員</p> <p>委員長</p>	<p>質問があります。16ページにボランティアのことが書かれていますが、ボランティアの登録者数は平成22年度までは増加傾向にあったけれども、平成23年度は約1割半ばの減少となっております。登録団体数も平成22年度までは増加傾向にありましたが、平成23年度は2割弱の減少となっております。これは例えば何か法改正などがあって全国的にこのような傾向があるのか、それとも市独自のことなのか何かわかることがあれば教えていただきたいというのが1点目。</p> <p>2点目は質問ではないのですが、19ページはグラフの内容が正しくて、文章のほうが逆になって間違えていますのでお伝えしておきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>16ページにありますボランティアの参加者の減少につきまして、何か理由があるのか市独自のものなのかをお答えいただきたいと思っています。</p> <p>これについては社会福祉協議会のボランティアセンターから回答をいただきました。私も疑問に思いお尋ねしたところ、一団体が何かの事情で抜けられたということがあったそうで団体数が減り、そのような関係で登録者数も平成23年度は若干減っているということで、法改正などの理由ではありません。</p>
<p>曾根委員 事務局</p> <p>委員長</p>	<p>それでは市独自の理由ですか。</p> <p>はい。活動方針が変わり抜けられた団体があったため減っているということです。</p> <p>どのようなボランティア団体があるかというのは社会福祉協議会のホームページなど見ればわかりますか。</p>

事務局 事務局	<p>社会福祉協議会のホームページには団体名まではなかったと思います。</p> <p>皆様ご承知かと思いますが、社会福祉協議会が事務局になっているボランティア団体連絡協議会というのがあります。16 ページの数はそこに登録されている数だと思いますので、ボランティア団体連絡協議会の総会の資料などで確認はできます。また、生涯学習でボランティア団体が活動している内容等がホームページなどにも出されていると思いますので、そのようなところでも確認ができると思います。</p>
片山委員	<p>私はこの社会福祉協議会にボランティアとして登録している食生活の団体です。昨年度、東地区の婦人会の団体や、シルバーの団体で高齢化に伴い車で移動ができなくなったなどの理由で、抜けた団体がとても多かったためにこのような数字になっていると思います。</p>
久野委員	<p>生涯学習課のほうで生涯学習情報センターに登録しているボランティア団体があると思いますが、そちらの推移については忘れられていないですか。</p>
事務局	<p>7 団体で約 70 人というのは確認していますが、まだ歴史が若干浅いということがあり今までの流れから数値が変わってしまうということもありまして、今回の数値には入れていません。</p>
久野委員	<p>しかし、ここの文章だけ見ますとボランティアの数は減少傾向にあるという内容になってしまいます。今の推移を聞きますと必ずしもボランティアに対する住民意識が薄れているということではないようですし、生涯学習課でのボランティアもありますので、そちらも含めて登録希望者が減っているとか横ばいであるとかの情報があったほうが、もう少し住民の意識が反映されるのではないかと思います。</p>
事務局 小平委員	<p>わかりました。</p> <p>今のボランティアの話ですが、うちの地域では協力員という名前で 20 人くらいが集まって地域だけで活動している方々がいます。だからそのようにボランティアには登録しないでも、地域では活動しているという人もいます。</p>
委員長	<p>今回の計画では、共助の部分が一番大切だということで、地域でのボランティアも重要な活動の拠点となると思います。次回、各論の議論をする際に、下野市内にどのような団体があるのかや、どれくらい高齢者がいるのか、またどのような NPO 法人が今現在どのような活動をしているのかなどの資料もあったほうがいいと思いますので、できれば次回、資料を用意していただきたいと思います。</p>
ジャパン総研	<p>先ほどの部分ですが、19 ページはケアレスミスで「会えばあいさつをかわす程度」が 3 割半ばで最も高く、次いで「たまに立ち話をする程度」です。申し訳ありませんでした。</p> <p>それから地域の協力員ということで 20 人くらいの方が活動されているということでしたが、実際に統計的な数値を出すためには数年間の数値が</p>

	<p>なければ難しい面があると思います。しかし、今回は資料編におきまして、地域の紹介ということで4つの中学校区を載せることになっていますので、その際に各地区の協力員の数がわかるのならばお付けすることはできると思います。</p> <p>そして、次回の素案検討にあたりまして、下野市にはどのような団体があるのかという資料をご提供できるようにしたいと思います。資料編の部分でお出しするかについても事務局と調整していきたいと思っています。</p>
<p>田中委員</p> <p>委員長</p>	<p>今の話から、例えば16ページのボランティアの現状について高齢化のために減少していると書き添えたほうが良いと思いました。</p> <p>それから29ページに主な課題として3つ上げられています。タイトルが長いので、例えば「ふれあい、支え合い、助け合いの輪が広がる地域づくり（人との絆の強化）」「安心・安全な暮らしやすいまちづくり（防災・防犯）」「地域福祉を推進するためのしくみづくり（体制の補強）」など入れていただいたほうが響きやすいと思います。いろいろと漠然としすぎてつかみにくいと思います。</p> <p>確かにそのような部分はあるかもしれませんが、基本目標のところにも本日の議題であります基本理念の案が4つ上げられていますので、皆様のご意見をお聞きしたいと思います。また4つの案よりいい案があればお願いしたいと思います。</p>
<p>田中委員</p> <p>曾根委員</p> <p>ジャパン総研</p>	<p>私は案3が良いと思います。</p> <p>私は案4に「共に支え合う」、案3に「思いやりの心で互いに支え合う」とあるのでこの「支え合う」をまず1つ入れるといいのではと思います。そして、案1の「人にやさしいまち」というのがいいと思っていましたが、案3の「思いやりの心で互いに支え合う」でもカバーできますし、後は「笑顔」ももちろんいいのですが「安心・安全」を入れたいという気持ちがありますので、「思いやりの心で互いに支え合う」と「安心・安全」が一緒になるような文章がいいのではないかと思います。文章を1つにするのか、2つにするのかはわかりませんがそのように思いました。</p>
<p>田中委員</p> <p>委員長</p>	<p>このような計画をつくる際に将来像のようなものは1つに定めるケースがありますが、それに対する副題ということでサブコピーをつくるケースもあります。そのようなことも含めて検討したいと思います。</p> <p>基本理念に関しては「思いやりの心で互いに支え合う、安心・安全に暮らせるまち 下野」の1つでいいのではと思います。そして、キーワードでぱっと目に入りやすくするように、構成していただきたいと思いません。</p>
<p>事務局</p> <p>久野委員</p>	<p>今いくつかの案が出ていますが、これは本日決定するのですか。</p> <p>今出された意見をもとに調整させていただきたいと思っています。</p> <p>私は「人にやさしいまち」という言葉が好きです。「笑顔あふれるまち」というのは笑顔があふれてくるのを待っているようなところがあります</p>

委員長	<p>ので投げやりに感じます。「人にやさしい」というのはまちとしての姿勢がうかがえて積極性も感じられるのでいいのではないですか。</p>
委員長	<p>今のご意見も考慮していただきまして、次回までに素案をつくっていただき、また皆様にお諮りいただくということでよろしいでしょうか。</p> <p>それからもう1点、基本目標のキャッチフレーズをもう少しはっきりしたほうがいいのではないかというご意見がありました。</p>
ジャパン総研	<p>先ほどからご指摘をいただいているのは、最後の計画の体系で基本目標が1、2、3とありますが、それぞれがぼやけた感じになっているということで、一言でわかるよう例えば「安心・安全な暮らしやすいまちづくり」ならば『防災・防犯』というキーワードを入れてはどうかということだと思います。しかしそういったものを出してしまいますと、その言葉に引っ張られてしまい、それだけなのかということになってしまいます。地域福祉計画は広い地域の福祉の課題を取り上げていくものであります。具体的な取り組みについては、次回素案を示す段階できちんとひと目でわかるように書かせていただくことで調整できればと思います。</p>
田中委員	<p>それならばもう少し29ページ、30ページのところが、読んで内容がイメージできるものであったほうが良いと思います。</p>
茂木委員	<p>本日の話は総論の部分ですので、各論に入中で具体化していただき、これがこうなるというのがわかる構成の仕方を考えていただければ、私個人的にはいいのではと思います。</p>
委員長	<p>それから5ページの計画の位置づけの中に栃木県地域福祉支援計画とありますので、下野市地域福祉計画との連携ということがより明確になりますよう、ご検討いただき一言ふれていただければと思います。</p>
委員長	<p>今2つのご意見が出されました。基本目標のキャッチフレーズについて、今回は総論ですので修正をするかは今後考えるということで、各論の時に具体的な内容を書いたほうが良いということ。それから下野市の地域福祉計画を現在策定していますが、栃木県の地域福祉支援計画との整合性、あるいは国からいわれている各地方自治体において計画書に必ず書かなければならない内容との整合性をどうお考えでしょうか。</p>
阿部委員	<p>課題の抽出の中には該当するものはありませんが、各論の基本目標2にあたります安心で安全な暮らしという中には、当然エコロジーということで環境にやさしいとか、環境を保護するということがあったほうが良いのではないのでしょうか。安心して暮らせるという意味で、地域福祉では非常に重要なことだと思います。それは誰がやるというものではなく、例えば川をきれいにするとか、里山や屋敷林を守ろうとか、福祉の一環として自助、共助で自分たちができることがたくさんあるのではないかと思います。だから希望としては各論の基本目標2の中に安心して住めるまちということで、環境を保護しよう、改善しようという視点があってもいいのではないかと思います。</p>

委員長	この点について環境と福祉は密接に結び合ったものですが、計画書の範囲を福祉に限定していくのか、それとも環境も入れた形で計画をつくるのか、あるいは他の部局で作られた環境に関する計画書とうまく刷り合わせていくのか、その点はどうか。
事務局	住民懇談会の時に、縁があって住みやすいという話が出ていた記憶がありますので、その辺りから引っ張れる気がします。また今、環境基本計画というのを別の部署でつくっていますので、地域福祉として接点がある部分は明記したいと思います。
委員長	他に何かご意見やご質問はありますか。 それでは、本日は総論ということで抽出した課題をカテゴリに分けたものと、計画の骨子ということで大まかな基本目標を皆様にご提示しました。次回は基本理念と基本目標のキャッチフレーズをどうするかという議論、それから各論ということでそれぞれの目標の中の細かい話をしたいと思います。 スケジュールについて事務局からお願いします。

(3) その他

事務局	次回の会議日程については、10月上旬から中旬頃ということで事務局で日程を調整してご連絡したいと思います。
-----	--

7 閉会

委員長	それでは第2回策定委員会をこれで閉会させていただきます。ありがとうございました。
-----	--

以上